

世田谷区民意調査 2020

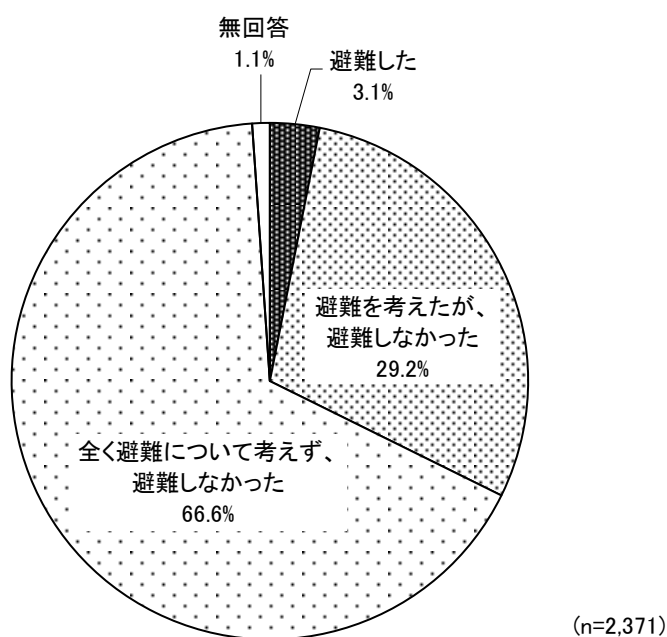
(概要版別冊)

《令和元年台風第19号に関する調査結果》

(1) 台風第19号接近時の避難有無

◎ 「全く避難について考えず、避難しなかった」が7割近く

令和元年10月に台風第19号(令和元年東日本台風)が区に接近しました。台風の接近にあたって、あなたは避難しましたか。(〇は1つ)

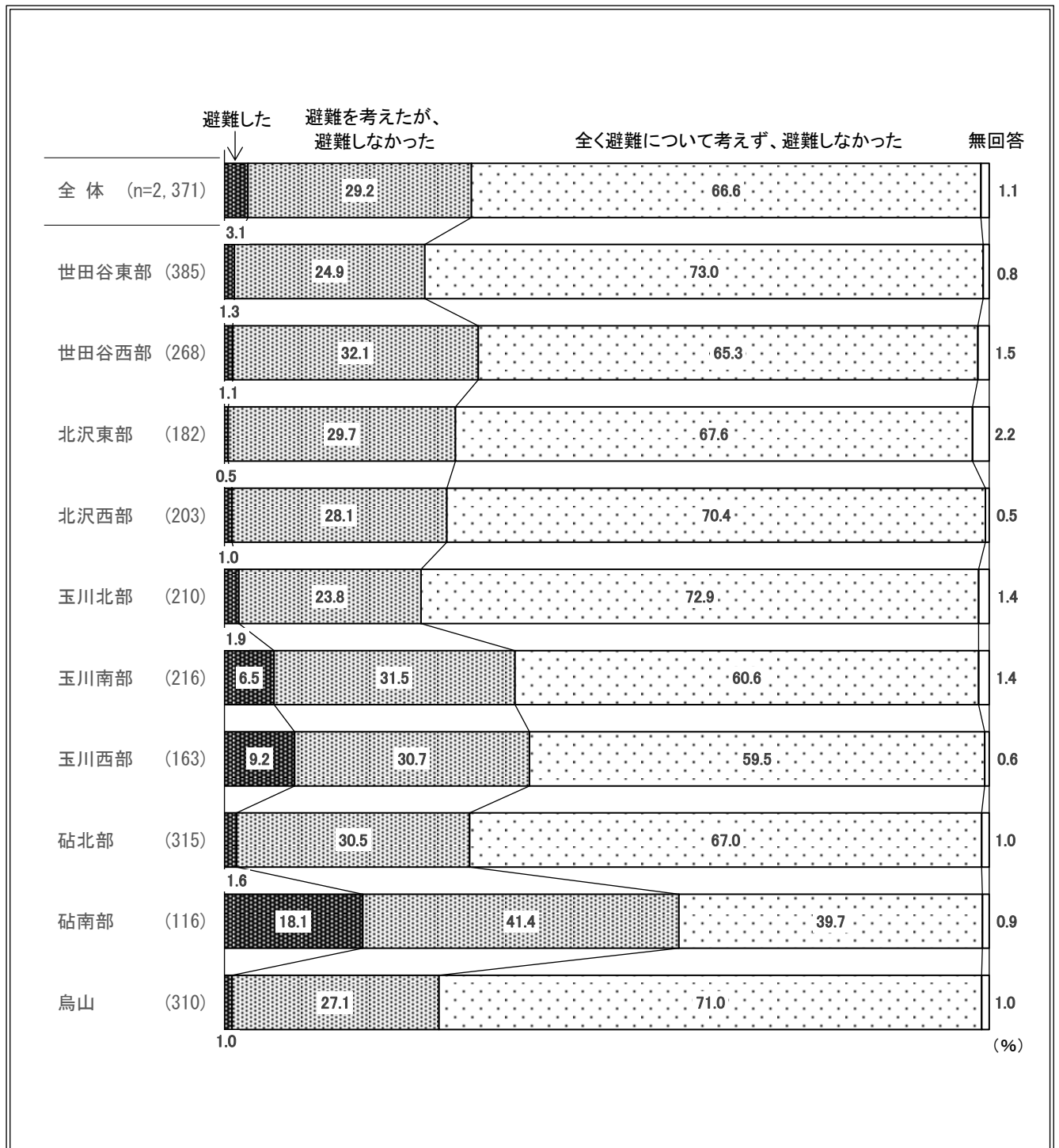


<調査結果>

台風第19号接近時の避難有無について聞いたところ、「全く避難について考えず、避難しなかった」(66.6%)が7割近くで最も高い。以下、「避難を考えたが、避難しなかった」(29.2%)、「避難した」(3.1%)となっている。

令和2年9月

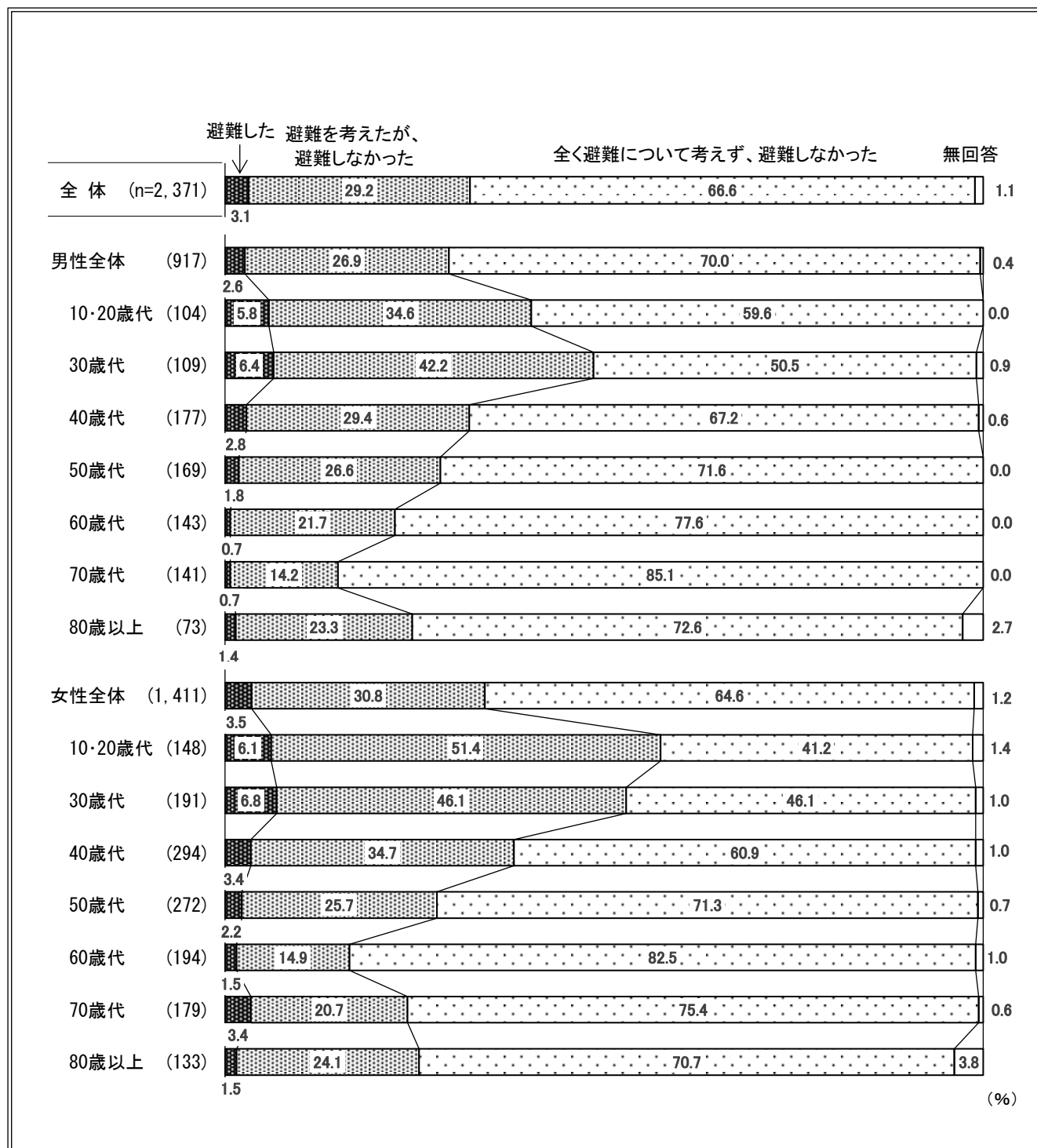
台風第19号接近時の避難有無（地域別）



<調査結果>

地域別にみると、「避難した」は砧南部が2割近く、玉川西部がほぼ1割となっている。「全く避難について考えず、避難しなかった」は世田谷東部、玉川北部、烏山で7割を超え、北沢西部で7割となっている。

台風第19号接近時の避難有無（性・年齢別）



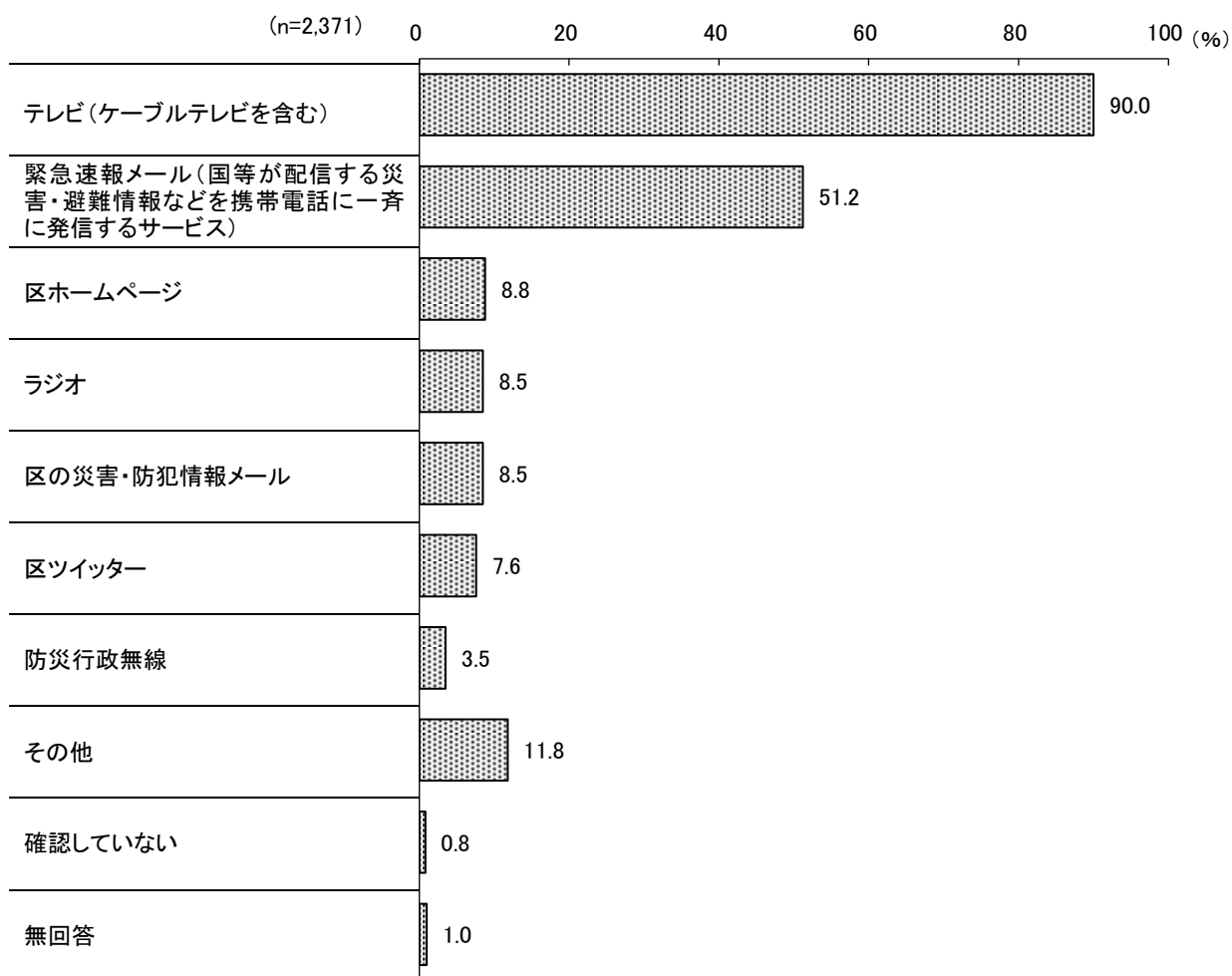
<調査結果>

性・年齢別にみると、「避難した」はいずれの年代も1割に満たなかったが、「避難を考えたが、避難しなかった」は若年層で高く、女性の10・20歳代で5割を超え、女性の30歳代で4割半ば、男性の30歳代で4割を超えている。「全く避難について考えず、避難しなかった」は男性の70歳代で8割半ば、女性の60歳代で8割を超えている。

(2) 台風第19号に関する情報の入手経路

◎「テレビ（ケーブルテレビを含む）」が9割、「緊急速報メール」が5割を超える

台風第19号の接近にあたって、台風に関する情報（気象情報や避難情報等）を主にどのような媒体で確認しましたか。（〇は3つまで）



<調査結果>

台風第19号に関する情報の入手経路について聞いたところ、「テレビ（ケーブルテレビを含む）」（90.0%）が9割と多数を占め、次いで、「緊急速報メール」（51.2%）が5割を超えている。

台風第19号に関する情報の入手経路（性・年齢別）

		(%)										
		n	テレビ（ケーブルテレビを含む）	ラジオ	防災行政無線	区ホームページ	区の災害・防犯情報メール	区ツイッター	緊急速報メール（国等が配信する災害・避難情報などを携帯電話に一斉に発信するサービス）	その他	確認していない	無回答
全体		2,371	90.0	8.5	3.5	8.8	8.5	7.6	51.2	11.8	0.8	1.0
性・年齢別	男性全体	917	90.1	9.9	3.2	7.4	5.6	5.8	45.8	15.8	0.9	1.1
	10・20歳代	104	76.9	8.7	-	7.7	4.8	12.5	50.0	20.2	3.8	-
	30歳代	109	83.5	5.5	1.8	18.3	4.6	17.4	50.5	26.6	1.8	0.9
	40歳代	177	92.1	6.8	4.0	6.8	6.2	9.6	51.4	20.3	-	0.6
	50歳代	169	91.7	7.1	2.4	12.4	7.1	1.8	50.9	17.2	-	1.2
	60歳代	143	94.4	11.2	7.0	2.1	4.2	-	44.8	12.6	0.7	2.1
	70歳代	141	92.9	17.0	2.1	1.4	4.3	0.7	39.7	6.4	-	1.4
	80歳以上	73	95.9	16.4	4.1	2.7	8.2	-	21.9	4.1	1.4	1.4
	女性全体	1,411	90.2	7.7	3.7	9.8	10.3	8.9	55.1	9.2	0.8	0.7
	10・20歳代	148	86.5	1.4	3.4	8.8	6.8	23.0	52.7	14.9	0.7	0.7
	30歳代	191	84.8	7.9	1.6	17.3	6.8	15.7	58.6	15.7	1.0	-
	40歳代	294	88.1	3.1	3.1	13.9	18.7	9.9	59.5	15.3	0.3	0.7
	50歳代	272	91.9	4.8	3.3	11.8	12.5	7.7	59.2	8.1	1.1	0.4
	60歳代	194	94.8	6.7	3.6	5.2	11.3	4.1	57.7	3.1	-	1.0
70歳代	179	96.1	16.8	6.1	3.4	4.5	1.7	54.2	2.8	0.6	-	
80歳以上	133	88.7	20.3	6.0	2.3	3.0	-	31.6	-	2.3	3.0	

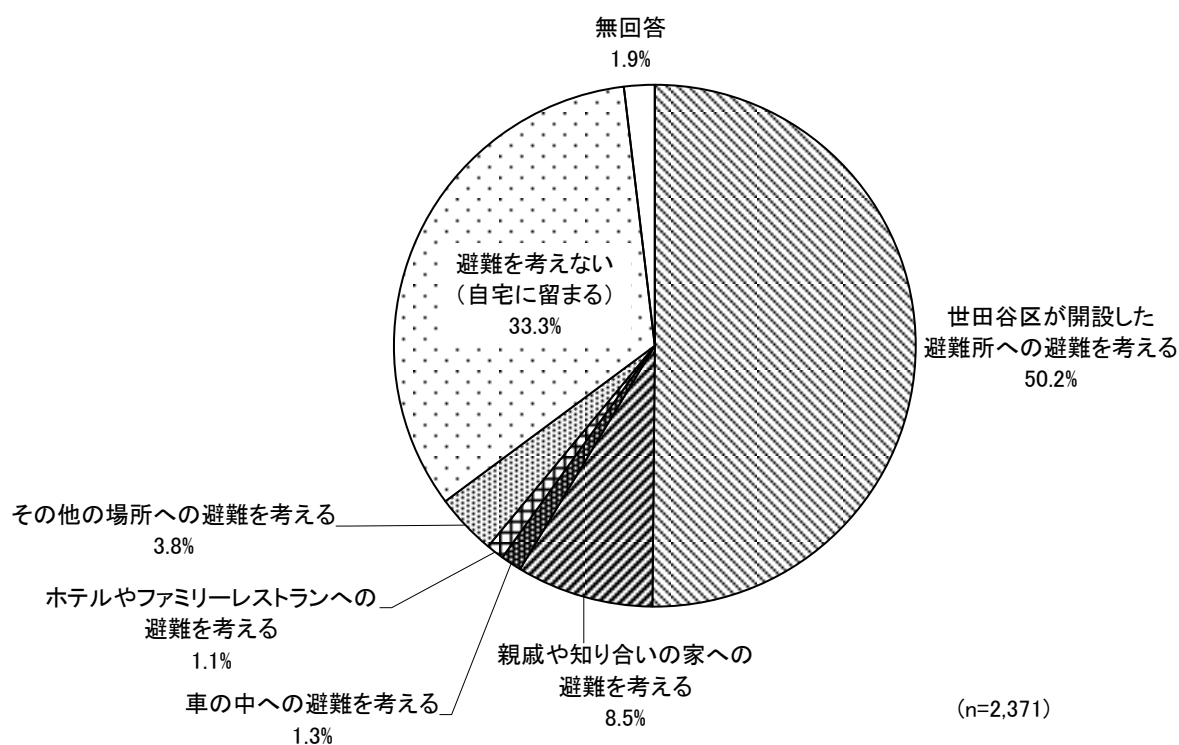
<調査結果>

性・年齢別にみると、「テレビ（ケーブルテレビを含む）」はいずれの年代も最も高く、7割台～9割台となっている。「緊急速報メール」は男性は50歳代以下、女性は70歳代以下が5割台と高いが、男性の80歳以上は2割を超えるにとどまっている。女性の80歳以上は「ラジオ」が2割で、他の年代に比べ高い。

(3) 避難情報が出された場合の避難意向

◎「世田谷区が開設した避難所への避難を考える」が5割

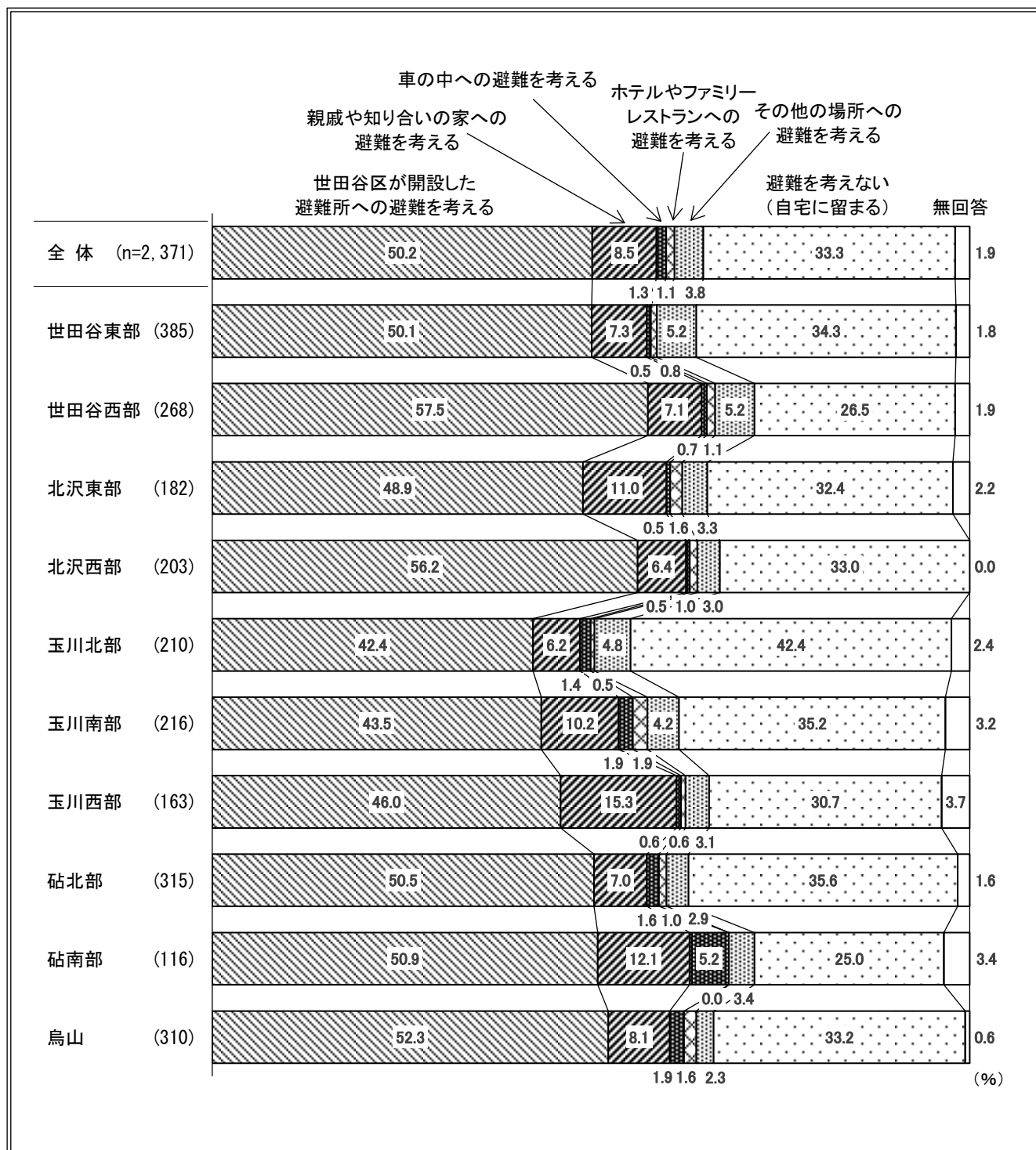
今後、台風が接近し、お住いの地域を対象に河川氾濫や土砂災害等に関する避難情報が出された場合、あなたは避難を考えますか。(〇は1つ)



<調査結果>

避難情報が出された場合の避難意向について聞いたところ、「世田谷区が開設した避難所への避難を考える」(50.2%)が5割で最も高い一方、「避難を考えたない(自宅に留まる)」(33.3%)が3割を超えている。

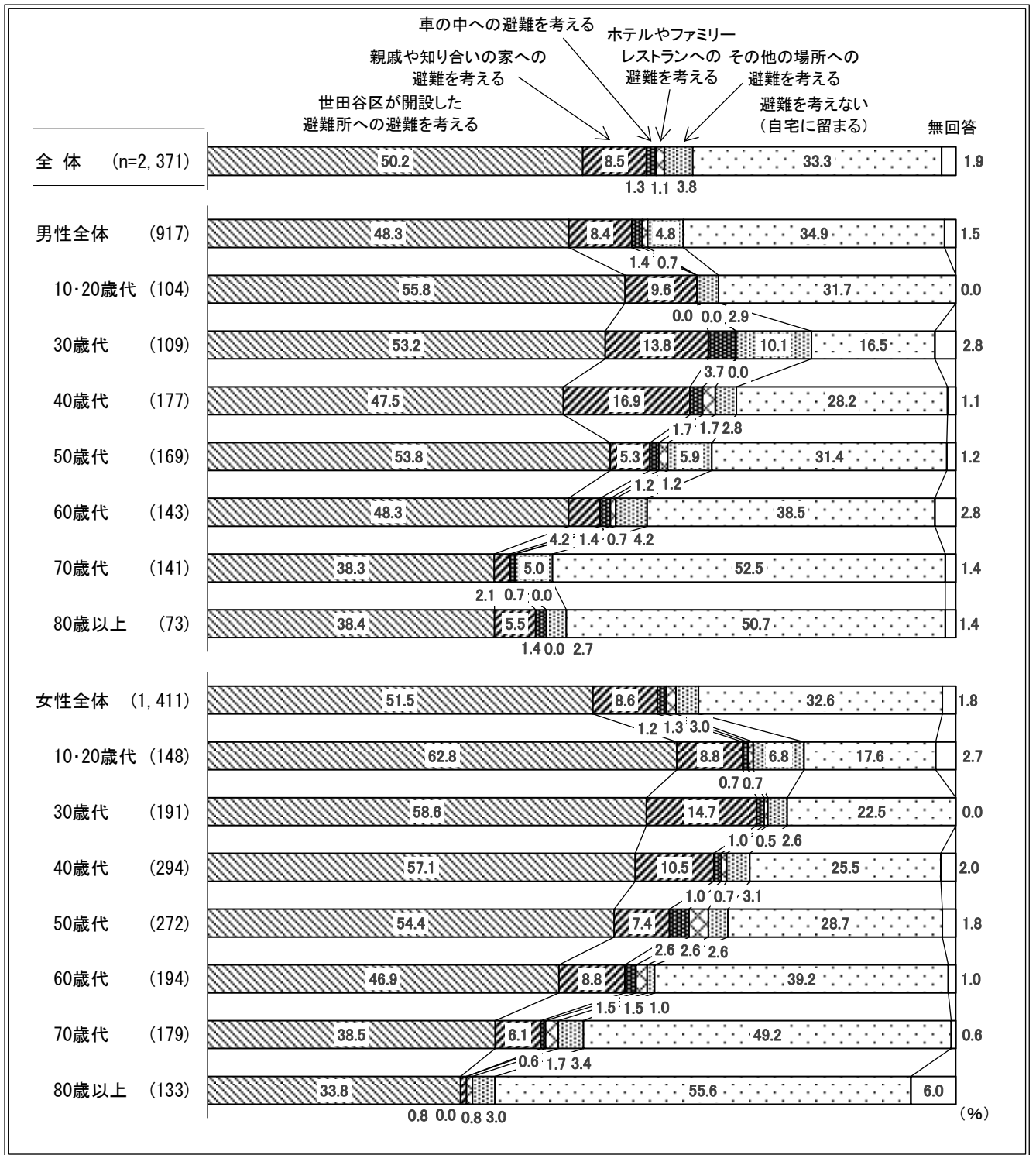
避難情報が出された場合の避難意向（地域別）



<調査結果>

地域別にみると、「世田谷区が開設した避難所への避難を考える」は世田谷西部が6割近く、北沢西部が5割半ば、烏山が5割を超えている。「避難を考えない(自宅に留まる)」は玉川北部が4割を超え、砧北部、玉川南部、世田谷東部で3割半ばとなっている。

避難情報が出された場合の避難意向（性・年齢別）



<調査結果>

性・年齢別にみると、「世田谷区が開設した避難所への避難を考える」は女性は年代が下がるにつれ高くなる傾向にあり、10・20歳代が6割を超え、30歳代と40歳代が6割近くとなっている。男性は10・20歳代が5割半ばで最も高く、70歳代以上は4割近くにとどまっている。「親戚や知り合いの家への避難を考える」は男性の40歳代が2割近く、女性の30歳代が1割半ばとなっている。